『自然の色を楽しむワーク①　これ何色？何の色？』

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
2025年10月24日（金） 10：00～10：30	3歳児クラス つき	『導入：身の回りの植物の色に興味と期待感を持つ』4人ずつ5グループ ・感触あそび（たまねぎ・きゃべつ） ・ノーズカード（植物版） ・草木染の見本の布

先生の気づき	予想される子どもの姿
・「服を触ってみよう」「髪を触ってみよう」だけでも子どもたちにとっては面白いものなのだとわかった ・「目を使わない」などの伝え方が分かりやすかった。 ・初めは「キャベツ！」と物の名前を言っていた子に「どんな形？」など質問して言葉を引き出していき、3つ目になったら聞かなくてもどんどん自分たちで気が付いたことを言うようになっていった。その体験が楽しかった。 ・子どもたちの素直な気づきを言葉にできるように質問の仕方を工夫した。「こうじゃない？」と自分の固定概念で言わない方が良いと思った。「感触」だと伝わらないから難しい単語はとっさにどう質問しようか迷った。 ・「さっきのと比べてどうか？」と聞いてみた。 ・自分なりの言葉で表現していたのが素敵だった ・同じものを触っても表現の仕方が変わることに気が付いた。 ◆導入 感触から野菜に興味を持ったり、感じたことや自分の考えを言葉で表現することを楽しんだりすることを導入として行う。自然のもので染めた布を見て、何色かな？どうやったら色が付くのかな？みんなで考えてみる。次の時までに野菜の皮を集めよう。	・はじめての活動に興味を持ち、動きを真似したり、お友だちの様子と見比べたりする。 ・色々なものを触ることで触感の違いに気付き、他のものにも触れてみようとする。 ・自分で思ったことや感じたことを口々に言う。
	子どもの言葉や姿の記録
	・最初は布巾の模様に注目している子がいた。 ・玉ねぎに興味を持っている子、皮を剥いている子、皮と布巾を並べて見比べている子もいた ・玉ねぎをボールにして遊んでいて、皮の向き方も分からなかった、叩いていた ・玉ねぎを叩いてくぼんだ所に「ここだ！」と向き始めた ・てっぺんを引っ張ってみようか？と言ってみたら、やり始めた ・「臭い！」と言い出したり、皮を剥き始めて匂いとか、入れ物をいっぱいにすること、ばりばりになることなどそれぞれ興味が違った。そしてオレンジになることを楽しみにしている。 ・オレンジになるかも？と見方を変えていた。 ・来週来たら見に行くのを楽しみにしていた。 ・紫キャベツで紫にしたいと言っていた子がいた。





『自然の色を楽しむワーク②　草木染（玉ねぎ）

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
2025年11月7日（金） 10：00～10：30	3歳児クラス つき	『草木染：玉ねぎの皮で自分のハンカチを染める』4人ずつ3グループ ・少人数のグループで先生も一緒に楽しむ ・調理室で集めてもらった玉ねぎの皮 ・ボトル　・ビー玉　・木の玉　・輪ゴム

先生の気づき	予想される子どもの姿
・皮むきをうまくできない場面があったが、できないからやってもらうではなく自分でやってみようとする姿があった。 ・ゴムを結ぶのに男女差があった。髪の毛を結ぶ習慣などが関係しているのかもしれないと思った ・ゴムやビー玉をすぐ触るのかと思っていたが、眺めてその景色を楽しんでいる児もいて楽しみ方がそれぞれに違うのだとわかった ・難しそうなことも難しいとは思いつつ自分で挑戦しようとする姿があった 	・1人1つあれば満足してやれそう ・参加できない子もいるかもしれない・・触るのはやっていたけど、些細な感触が苦手、濡れた雑巾など ・みんな興味津々で今日終わったので、問題なさそう。次を楽しみにできるくらい成長したと思った ・ゴムは難しそうなので活動までに遊びに取り入れてみる ・1人1個のたまを用意する

子どもの言葉や姿の記録
・皮を入れるときにたくさん詰めて「パンパンだよ」と言っていた。 ・ビー玉を包むとき、「むずい」と言いながらも「自分でやりたい」と言って頑張っていた。 ・ドラマがあった。同じテーブルの子がやっていた「ビー玉を２つ一緒に包む」のをやりたいが、自分の分がなくて葛藤していた。キラキラ輝いていることが気に入っていたのか、他の物を使うことでは納得できずにいたが、先生の言葉がけから木の玉に色を塗るということを思い付き、気持ちが切り替わり意欲的に行動し始めた。何で塗るかも自分で考え、ピンクの絵具で塗ってをれを布ので包んだ。 ・自分の指にグルグル巻いて諦めずに一生懸命やっていた。誰かに見せたいという気持ちも伺えた。普段あまり活発ではない子だが、声掛けながらやっていた。他の子がやっていることも気にしながらやっていた。 ・お化けに見立てて遊んでいた。 ・「わくわくした」どんなことにわくわくするのか聞くと「初めてのこと」と言っていた。 ・前回は振っている子が多かったが、今回は完成したケースを横向きにして転がす動きをしていた。

『自然の色を楽しむワーク③　自然の色水遊び』

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
2025年12月4日（木） 10：00～10：30	3歳児クラス つき	・テラスで色水遊び　自然の物から色を作って遊ぼう すりこぎセット、計量カップ、計量スプーン、プラカップ、スポイト 半紙、毛糸、ジップロップ、ブルーベリー、みかん、トマト、ほうれん草 コーヒーフィルター、重曹、レモン

先生の気づき	予想される子どもの姿
・月齢の差が、選ぶものに差があった。こう月齢の子たちは今までの活動を経て自分なりのイメージを持って活動をやろうとしていることが分かった。また、一人で黙々とやる子、友だちと協力してやりたい子など様々だった。 ・どの子も楽しもうとする姿があった。 ・道具が借りれなくても、最後まで待って思い切り使い切れた満足感が、その後ささっとみんなを追いかけられた行動につながったと思う。 ・これを使ってこうしたいという考えを持って遊んでいた。 ・ブルーベリーの実験の後、黒くなった水に毛糸を入れるのを嫌がるかと思ったら（好みではないので）自分から迷いなく入れていてびっくりした。	・新しいものに目を輝かせる ・一通り全部やってみたい





子どもの言葉や姿の記録

・野菜を出したとき、器具を出したときの盛り上がりがすごかった。「なにそれ！」と口々に声を上げていた。「そうやって使うの？」とすり鉢には特に注目していた。
・家では食べ物を触ったことがない子がいたみたい。
・これまでの経験から、ブルーベリーを潰すやりかたは分かったみたい。
・みかんは、いきなり潰していた。どうやったら汁が出るのか試行錯誤していた。
・加配対象児、普段は一切食べ物を触らない。白いご飯だけしか興味ないが、いきなりみかんに手を出して、自分の物と言う感じで持っていた。
・トマトの断面に感動して「みてー！」とずっと言っていた子がいた。
・指で潰した子もいた。（道具がなかったからかも）
・ブルーベリーの実験では、まさか黒になるとは思ってなくて「黒だ！黒だ！」と興奮した表情で喜んでいた。
・前回のたまねぎの活動のあと、野菜や果物の色のクイズを出して子どもたちが遊んでいた。自分たちで問題を作っていた。

『虫を楽しむワーク①　虫のネイチャーゲーム』

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
2025年10月24日（金） 11：00～11：30	5歳児クラス そら	ネイチャーゲームを楽しみながら虫について知っていることを話す ・動物カード・ビックカード・ノーズカード・アリの巣ハウス グループごとに話したり、発表したりする。特に興味があるアリについては、次回までの間にアリの巣を作る実験をする。

先生の振り返り	予想される子どもの姿
・特長について興味を持った　足の数 以前、虫メガネに食いついていた。アリの巣にとても興味を持っている。どうやって掘っていくんだろう？と興味を持っている。 カード、図鑑を持って公園に行ってみたい。  	・虫のカードをみて興味を持ち、好きなカードを選ぼうとする。自分のカードを友だちのカードと比べようとする。 ・仲間わけでは、動物や植物、昆虫など興味があるものの特徴を知り、分かったことを発言する。
	子どもの言葉や姿の記録
	・公園に行くと走り回っていて自然物に着目することがなかったけど、全員参加して興味を持っていたのでこれから公園に行ったとき遊べると思った。 ・虫の特徴を1人1人話していていて驚いた。あ、できるんだと思った。知れて良かった。 ・最近アリが好きで捕まえて注目している人がいる ・さるってなんのなかまだろう？とさんざん考えていた。知ってる？人間ってサルの仲間なんだよ？

『虫を楽しむワーク②　身近な自然で遊ぼう』

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
2025年11月7日（金） 11：00～11：30	5歳児クラス そら	身近な自然で虫の生態に興味を持つ ・虫メガネ・アリの巣ハウス・ネイチャーゲームの道具（カエル）・10円玉 部屋の中で先日作ったアリの巣ハウスの観察をしてから、園の敷地内で虫の生態に興味をもてるようなネイチャーゲームを行う。普段入らない場所なので行動範囲を明確にする。

予想される子どもの姿	
＜室内＞ ・アリの巣ハウスの観察 ＜屋外＞ ・ネイチャーゲーム【カモフラージュ】 ・ネイチャーゲーム【宝さがし】（カタバミの葉） ・カタバミの葉で１０円玉磨き	・砂にも興味を持ちそう。 ・アリを楽しみにしていたので ・集中して楽しめそう（アリの巣作り）
・以前	**子どもの言葉や姿の記録**
・アリの巣に対しての意見も豊富だった。 ・初めての事にはわくわく挑戦することが多いと思った。 ・子どもたち同士で「やろう！」と声をかけてくれることが多い。 ・虫かごを持ったら永遠に楽しんでいそう。道具とかあると楽しいのかなと思った。次回が楽しみ。 ・ワクワクした気持ちを自分でコントロールして楽しめるんだなと言うのが意外でもあり、余裕が生まれているんだと思った。 ・そら組の結束力があった。相手を思いながら隠していた。ここだったらどうだろう？と考えていた。	・かしわ公園にありを探しに行ったらあまりいなくて、1歳児さんも一緒にさがした。本を片手にアリと見比べて探していた。かしわ公園にはあまりいなかったからどこに探しに行こうか、となった。「冬眠しているんじゃない？」ありのえさも探していた。落ちていた木の実とかみみずの干からびたやつを探して拾っている子もいた。食べてる！と観察していた。グループに1つしかないけど協力してやっていた。グループは自分たちで決めていた。 ・虫メガネを始めて出したらとても嬉しそうで、探検隊みたいだった。いつもは行かないところに入れたのも興味が湧いたようだった。 ・いつもは走って行っちゃう子も、カエルをさがすためにゆっくり進んでいた。 ・カエルの体と同じような色のところに隠せていた。 ・カタバミは初めての経験で、他の子のを見て「もっとだ！」とやっていた。個性出ていた。 ・虫メガネで色々見たくなるんだなと思った





『虫を楽しむワーク③　虫を探して絵を描こう』

すくわくシート

園名　みらいく中村2丁目園

（記入者：　　）

日　時	対　象	概　要（実施テーマ/準備物/環境設定等）
12月4日（木） 9：45～11：45	5歳児クラス そら 12人	・虫を捕まえて、よく観察しながら絵を描くことで虫の事をもっと知る 虫かご、虫メガネ、虫取り網、ビニール袋、色鉛筆、クレヨン、色紙 画用紙　※舘野鴻さんと一緒に

流れ	予想される子どもの姿
9：45～　玄関で挨拶した後、公園へ出発 かしわ公園で自然観察、虫取りなど 10：45～　帰園し、昆虫観察とお絵描き 11：45頃　終了	・初めての人に会うので緊張している ・公園ではいつまでても飽きずに散策しそう ・今まではお絵描きにはクレヨンを使っていたが新しく色鉛筆も使う ・虫メガネを喜んで使いそう

先生の気づき	子どもの言葉や姿の記録
・公園で広場に一回も入らないでこんなに集中して遊べるんだ ・自然に触れているだけで集中して1時間も遊べるんだと思った ・自分が持って帰ってきたもので絵を描くということでよく観察していた ・虫メガネや、網があることによりより発展して意欲を引き出せていた ・子どもたちが”見る”ということを言われていないのに描くために一生懸命興味を持てる場所を探してみていた ・その子らしさ。自分なりに面白がったり充実させて面白がったり一緒に面白がってくれる大人がいることが良い刺激になっていた ・満足して充実していたからこそ、その後の行動も早かった。普段、一緒に楽しみ切れていない時もあるので気づきになった。 これまでの成果、成長していたと実感できる場面があった。 ・子どものテンションがすごかった。自分から食いついていく感じや、喜びつくしている。目いっぱい楽しんでいるのを見ているだけで楽しかった。	・はっぱで笛「やりたい、やりたい」 ・どんぐり、食べていいんだよと舘野さんが食べ始めたのを見てびっくりしていた。 ・木を揺らして落ちてきた虫を探して拾った。小さい虫でも拾っていた。 ・葉っぱを落とす網を自分たちで舘野さんを真似して使っていた。 ・頭がないかまきりについて「ありに食べられた」「鳥に食べられた」 ・樹液について触ったり匂いを嗅いだり「固まってる」「キラキラしている」匂いを嗅いでいた。 ・自分で発見したものを友だちにも知らせて一緒に楽しんでいた。 ・「まだ捕まえてない子いる？」と虫を分けてあげている子もいた。 ・葉っぱの裏を見て「カメムシが冬眠してる」 ・落ち葉がいっぱいあるところがふかふかになっていて、そこではしゃいで遊んだ「おふろだー！」 ・たねのことを「何色かわかんない」と似ている色の色鉛筆を集めて、端っこで試し書きで色を混ぜていた。 ・赤い実だと思ったけど「あれ、赤じゃない」「これだと薄い」「似ているけどこれじゃない」形も丸と表現すると思ったら「イチゴの形」と表現した。 ・最初は「臭いからやだ」と言っていたのに、友だちが落としたカメムシをさっと拾って渡していた。 ・「カメムシがおしっこした！」「おしっこされたんですけど！」



